

発言No.

14

受付No.

13

令和 5 年 2 月 15 日

10 時 10 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 2 番

氏名 村 木 勝 也

答弁を求める者

(○をつける)

☐ 市長

教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 昭和 58 年の山陰豪雨水害から 40 年を迎えた防災・減災対策について

(1) 防災情報の伝達について

① 今年、7 月 23 日に 40 年を迎えるにあたり、現在、市の防災・減災対策において特に意識していることを伺う。

② 災害時に必要な防災情報を速やかに、確実に伝えるために市の対応を伺う。

(2) 防災備蓄、災害時応援協定について

① 令和 4 年度新規事業である防災備蓄倉庫整備事業の現状について伺う。

② 市における備蓄の現状と今後の計画を伺う。

③ 市民や地域への防災備蓄の対応を伺う。

④ 災害等による救助作業、物的・人的支援、復旧作業等に速やかに対応するための災害時応援協定の現状を伺う。

(3) 政府が検討している「郵便局に災害物資備蓄」について

① 現在の市内郵便局との防災上の関わりを伺う。

② 今後、政府の考えが示された場合、このことについて、市は、どのような対応を考えているのか伺う。

(4) フレイル予防と防災について

① 浜田市総合振興計画の健康づくりの推進においては、健康寿命の延伸が代表的な目標となっています。その現状を伺う。

② フレイル予防における他の部署との連携の現状を伺う。

③ 地区まちづくり計画におけるフレイル予防の視点について現状を伺う。